

平成18年度第2回磯子区地域福祉保健計画推進委員会議事録

開催日時	平成18年12月8日(金) 午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	磯子区役所 701号会議室
出席者	委員：外村委員・小島委員・鈴木委員・福士委員・三澤委員・吉田委員・中里委員・櫻井委員 関野委員・矢野委員・岩瀬委員・大平委員・佐々委員・野田委員・平野委員・三浦委員 米尾委員 事務局：福祉保健センター長・新井担当部長・泉課長・高橋課長・小谷課長・繁野係長 重松係長・菊池係長・清水係長・保木職員・山口職員・長谷川職員・小先職員 (区社協) 福島事務局長・矢崎次長・遠藤職員 (ケアプラザ) 向井所長(根岸)・楠田職員(磯子)・岸本職員(新杉田)・増澤職員(洋光台) 杉浦職員(屏風ヶ浦)
欠席者	佐藤委員・上杉委員・水越委員・石塚委員・時任委員
議 事	<p>・センター長あいさつ</p> <p>1 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の進捗状況について</p> <p>(1) 地区別の取り組み(清水係長)</p> <p>&lt;出された意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根岸地区で進められているあいさつについての取り組みは非常に大切なことだと思う。</li> <li>・最近知らない人に対して警戒心が強いが、小2くらいの女の子から声をかけられたことがあり、とても嬉しかった。</li> <li>・知らない人から声をかけられてもついていってはいけなくて教育しているので矛盾はあるが、声かけは大切なことだと思う。嫌な世の中だが明るく安心できるまちをつくりたい。</li> <li>・杉田地区で高齢者の健康づくりの取り組みを進めているが、スタッフの数が少ないのが悩み。団塊世代に期待したいが…。</li> <li>・区社協のボランティアセンターには約200名が登録している。団塊世代を対象にしたボランティア入門講座を始めたがなかなか集まらない。</li> <li>・洋光台地区でも団塊世代を対象とした地域デビュー講座の取り組みが始まっており、実行委員会を立ち上げて1月からの開講に向けて準備を進めている。体験学習を目玉としている。</li> <li>・杉田地区では3つの部会が立ち上がったが、それぞれの部会がそれぞれの地域に合った活動をしていきたいと考えている。</li> </ul> <p>(2) あなたの提案実現事業(山口)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯子区学習支援センター事業の実施団体の選考は最終段階に入っている。</li> <li>・マナーについてのアンケートを2月に実施する予定。</li> </ul> <p>(3) しあわせバンク(山口)</p> <p>&lt;出された意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「場バンク」については、場所の情報を集めるのは権利の問題があり難しいところもあるのではないかと。</li> <li>・杉田地区の「健康づくりガイド」では、杉田地区の町内会館の情報を集めて発表した。</li> </ul>

→町内会館の利用促進については地域振興課が取り組んでおり、有効に活用してもらうよう各町内会に依頼をしているところである。

- ・ 必要とする人と提供したい人を結びつけるしくみづくりについては、福保センターと地域振興課で協力して取り組んでいきたい。
- ・ 子育て支援のコーディネートをしているが、当日の朝になって依頼が入ってくることがある。しくみづくりが早くできたらよいと思う。
- ・ 試験運用および本格稼働のスケジュールはどうなっているのか。

→今年度は、どのようなバンクをつくっていくのかについての構想段階。19年度は試験運用を行い、試行しながら検討していく。20年度以降には本格的に稼働していく。

## 2 推進フォーラム開催について（小先）

<質問>

- ・ 周知のチラシについては回覧を考えているのか。  
→これから検討していく。

## 3 今後の進め方について（清水係長）

地区別の取り組み及びあなたの提案実現事業については引き続き進めていく。しあわせバンクについては、まずは庁内で検討を行い、その後関係者の参加を得て構想を練っていく予定。また、第3回推進委員会を3月1日に実施する。

## 4 その他

<意見・質問>

○あなたの提案実現事業について

- ・ マナーについてのアンケートはどのように実施するのか。  
→主に団体・学校などに依頼していく予定。できるだけ幅広い世代の区民に協力をお願いしていきたい。

○しあわせバンクについて

- ・ しあわせバンクをどのようにつくっていくかが大きな課題になると思う。バンクに登録しても声がかからないというのが現状。地区センター、ケアプラザなどで多様なイベント・講座が行われているが、登録している人の中から実際に協力してもらうことでしくみができていくのではないかと感じている。
- ・ しあわせバンクができるまでにずいぶん時間がかかるという印象がある。コーディネーター養成講座を早く実施してもよいのではないか。

○その他

- ・ 「話を聞いてほしい」というニーズを聞くが、家に訪ねていくのは躊躇してしまう。地区センターなどの場であれば積極的に相談できるのでは。
- ・ 地域には同じようなニーズがたくさんあると思う。「傾聴ボランティア」の養成講座をぜひ区や社協で実施してほしい。
- ・ 洋光台地区では傾聴ボラをすでに実施している。友愛活動推進員・民生委員と一緒に訪問し、友達同士のような感覚でじっくりと話を聞いている。これを他の地区でも広げていくことが

	<p>できればよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員の立場からすると、近所からの情報が一番ありがたい。友愛活動推進員、保健活動推進員、ボランティアなどと協力しながらやっていきたいと考えている。孤独な人はどうしても埋もれてしまいがちなので、そのような人が近所の人とつながりをもてたらよい。お互いの信頼をつくるのは難しいが、なんとかやっていきたいと考えている。</li> <li>・ 傾聴ボラ養成講座があればぜひ受講したい。 →各ケアプラザなどの自主事業の講座に意見を反映させていきたい。</li> <li>・ 役所の縦割りを解消するようにしてほしい。 →地域福祉保健計画推進プロジェクトで、横断的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>第3回推進委員会…平成19年3月1日（木）18時30分～</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 広報よこはま磯子区版12月号</li> <li>2 「みんなでコラボれ！」創刊号～第3号</li> </ol>